

根拠に基づくアンチスティグマ活動研究会 学術発表会

精神疾患へのスティグマ形成、影響に関する Bio-Psycho-Social evidence

2020年8月27日(木) 13:00~15:00(予定)

ZOOM開催 (登録制)



「根拠に基づくアンチスティグマ活動研究会」では例年、日本精神神経学会学術総会等で活動報告を兼ねたシンポジウムを企画・発表し、研究のさらなる発展に努めてまいりました。本年第116回学術総会は残念ながらオンデマンド配信のみとなり、演題の中に配信に検討がある内容を含むことからシンポジウム自体を取り下げざるを得なくなりました。そこで今回、シンポジウムと同様の企画をZOOMで行い、皆様からの意見を広く頂ければと考えております。スティグマ研究やアンチスティグマ活動にご興味のある方はぜひご参加いただき、今後の研究や活動についてのご議論いただければと思います。皆様の参加をお待ちしております。

13:00-	<u>開会挨拶</u>	安藤俊太郎・東京大学医学部精神神経科
13:05-	<u>発表 1</u>	「思春期のスティグマの変化における親のスティグマの影響」 小塩靖崇・国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
13:30-	<u>発表 2</u>	「扁桃体垂区域に関連した安静時機能結合とスティグマ変化の関連」 小池進介・東京大学大学院総合文化研究科
13:55-	<u>発表 3</u>	「スティグマに抵抗する自己：精神疾患診断名の付与に関する語りの質的分析」 須藤美恵・東京大学大学院医学系研究科
14:20-	<u>発表 4</u>	「統合失調症の名称変更とアウトカムとの関連」 山口創生・国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
14:45-	<u>指定発言</u>	小川亮・国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 宮西勝子・ユーザーリサーチャー活動家 画家
14:55-	<u>質疑討論</u>	

登録方法

右上QRコード もしくは <https://forms.gle/Ws1dz8cYBa4PyJ1z6> にアクセスし、登録をお願いします。期日近くなりましたら、ZOOM リンクをお送りします。

お問い合わせ

東京大学大学院総合文化研究科進化認知科学研究センター
<http://klab.c.u-tokyo.ac.jp>



主旨

精神疾患への偏見・差別(スティグマ)は、一般市民だと援助希求・受療行動を、当事者・家族だと回復を妨げる要因となる。しかし、スティグマの形成過程やスティグマが与える影響はいまだ科学的根拠に乏しい。形成、影響いずれにおいても、Bio-Psycho-Socialいずれも関与し、これらが相互作用しうる。例えば生物学的には、スティグマ形成の発端となるステレオタイプ形成とそれに基づく行動は生物必須の機能であるが、実際に精神疾患へのスティグマにどう結びついているのかはわかっていない。心理学的には、スティグマ形成には親子関係などの垂直伝播や、学校や地域での水平伝播が関係すると考えられるが、実際に明らかにしたエビデンスは乏しい。また、スティグマを持った当事者がどのような行動形成に至るのかも明らかでない。社会学的には、日本は世界に先駆けて統合失調症の名称変更を行政レベルで行ったが、その長期効果について科学的に検証された結果は乏しい。そこで本シンポジウムでは、スティグマの形成過程やスティグマが与える影響に関して、Bio-Psycho-Socialそれぞれの側面で切り込んだ研究成果を紹介し、議論する。小池は、スティグマの変化について磁気共鳴画像の安静時機能結合を用いた検討を紹介する (Nakamura et al., Revision submitted)。小塩は、思春期におけるスティグマの変化について親のスティグマの関与を検討した研究を紹介する (Ojio et al., *Psychiatry Clin Neurosci* in press; Koike et al., *Psychiatr Res* 2018)。須藤は、精神疾患診断名の付与のプロセスに関連して、それらが当事者にとってどのように経験され、スティグマへの抵抗性を示していたかを紹介する。山口は、統合失調症の名称変更についてのシステマティックレビューを紹介する(Yamaguchi et al., *Psychiatry Clin Neurosci* 2017)。本シンポジウムで、スティグマ形成、影響に関する研究をBio-Psycho-Socialそれぞれの視点から紹介し議論することで、今後のスティグマ研究の方向づけができることを期待している。

注意事項

発表内容は未発表のもの、取り扱いに注意を要するものを含むため、通常の学会報告と同様に、録音、録画、写真撮影はお控えいただきますよう、よろしくお願いいたします。